

キャリア形成プログラム

(整形外科学教室)

取得を目指す専門医資格

整形外科専門医

【コースの概要】

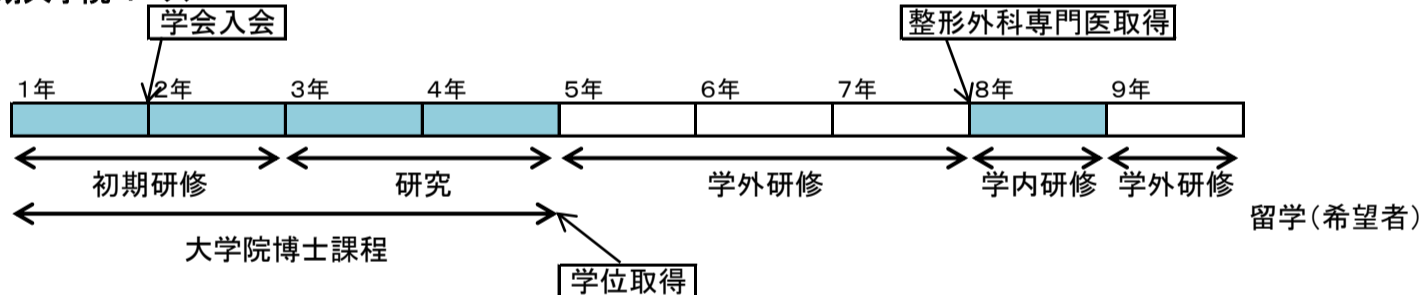
全体像

整形外科専門医は、あらゆる運動器に関する科学的知識と高い社会的倫理観を備え、さらに、進歩する医学の新しい知識と技術の修得に日々邁進し、運動器に関わる疾患の病態を正しく把握し、運動器に関わる疾患の病態を正しく把握し、高い診療実践能力を有する医師です。整形外科専門医取得には日本整形外科学会に入会し、6年間の研修が必要です。初期研修後、専門医取得までの4年間の後期研修プログラムを用意しています。この4年間は原則として症例数豊富な当科関連施設をローテートします。4年間で骨折・外傷50例、人工関節手術20例、脊椎手術20例、関節鏡視下手術20例、小児整形外科疾患10例、骨軟部腫瘍10例などを主治医として治療し、手術の執刀を行うことを到達目標とします。整形外科専門医を取得した後、subspecialtyとして脊椎脊髄外科、関節外科、手の外科、骨・軟部腫瘍、小児整形、スポーツ医学などの亜専門分野での専門医を目指した診療に携わっていきます。学問として研究するための博士課程大学院への進学が可能であるほか、手術手技を含む治療技術を学ぶために各分野における国内トップクラスの施設に留学することが可能です。大学院では、脊椎変性疾患を中心とした病態解明のために地域住民健診からのコホート研究、先端医療技術の開発、脊髄内痛覚伝達機序の解明などの疼痛関連研究、脊髄機能モニタリングに関する研究などのテーマを中心に、基礎・臨床的な面からのテーマを各自に与えます。指導教官の下で、大学院1, 2年目は臨床的見地からの研究基盤を固め、3, 4年で研究成果発表、研究討議会などを終了し、学位を取得します。大学院の他に学位取得は、学外研修中でも希望者にテーマを与え、週1-2回の大学研修での研究も可能である。当教室では、脊椎脊髄指導医が17名、脊椎内視鏡下手術技術認定医が8名の資格を有し、全国に先駆けて脊椎低侵襲手術に取り組んでいる。全国各地から患者さんが受診するの加え、多くの脊椎外科医の当教室への短期留学を受け入れている。国内・国外留学は、整形外科専門医取得、大学院修了後に希望者から選出し、数カ月から1年の期間で臨床研究を行う。卒業後9年以降は、亜専門分野の専門医・指導医取得(整形外科専門医取得者のみ取得可能)し、学内、学外の専門スタッフ、医長に就任する。学問・研究・学会活動などでの業績により大学教員として教育・研究・臨床に就く。

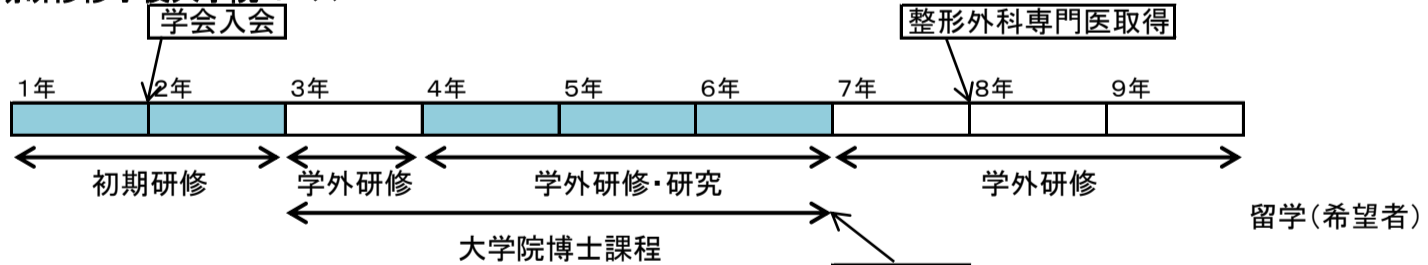
・9年間の研修予定(モデルコース)

※ は学内研修

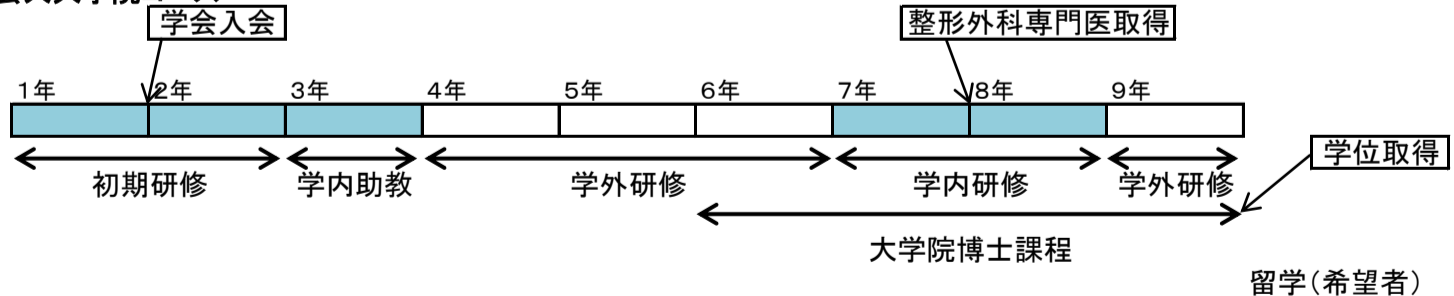
・早期大学院コース



・初期研修修了後大学院コース



・社会人大学院コース



早期大学院コースでは、初期研修の時から大学院に所属しながら研修、研究を行う。大学院博士過程、学位取得後、臨床研修に専念し、多くの臨床経験を重ねる。初期研修後大学院コースでは、初期研修修了とともに基礎、臨床研究に専念し学位を取得する。その後、より多くの臨床経験がきるように学外研修を行う。社会人大学院コースでは、臨床研修を続けながら大学院に所属し、基礎、臨床研究を行う。留学は、希望に応じて臨床研修、学位取得後の基礎、臨床への多面の視野を持ち、スキルアップのできる卒業後9年以降に与える。海外留学先には、シンガポール大学、香港大学、米国のDartmouth大学、米国のCleveland Clinic、米国のEmory大学を予定。

指導体制

・研修先病院

学会認定施設	研修病院名	診療科	指導者数 (人)	うち専門医 数(人)	受入可能最大 人数(人)
○	和歌山ろうさい病院	整形外科	8	6	2-3
○	済生会和歌山病院	整形外科	7	5	2-3
○	和歌山県立医科大学附属病院紀北分院	整形外科	3	3	2
○	海南医療センター	整形外科	2	1	1
○	公立那賀病院	整形外科	4	4	2
○	橋本市民病院	整形外科	5	3	2
○	有田市立病院	整形外科	2	1	1
○	済生会有田病院	整形外科	5	3	2
○	国保日高総合病院	整形外科	4	4	1
○	国立病院機構南和歌山医療センター	整形外科	4	3	2
○	紀南病院	整形外科	6	4	2
○	新宮市立医療センター	整形外科	5	4	2
○	国保野上厚生総合病院	整形外科	2	2	1

・専門医について

学 会 名	日本整形外科学会
資 格 要 件	医師免許 臨床研修含む6年以上の臨床経験 学会会員歴6年以上の会員歴 1編以上の論文雑誌掲載、主発表者として学術集会で1回以上の発表 学会が主催または認定する教育研修講演受講、30単位取得